

# 恵那支所ボランティア連絡会 エコキャップ収集活動のご報告

みなさまのご協力により、今年度は下記の金額(3月15日現在)を送金することができました。このお金は国連ユニセフを通じて、世界中の子どもたちへ届けるワクチンにかかります。今後ともみなさまからのご支援とご協力をお願い申し上げます。

恵那支所ボランティア連絡会 会長 鈴木 隆文

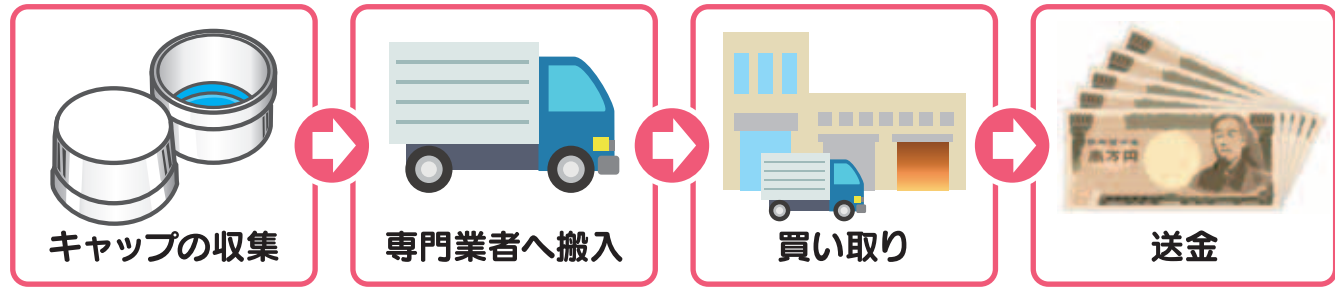
平成29年度に集められたエコキャップは…

## 14,716円 → 約753人分のワクチンにかかります

(ペットボトルキャップ約453,600個分) (ポリオワクチンの場合) ※金属キャップは引き取りできません ※キャップは水洗いしてお持ち込みください

エコキャップ収集の流れ

1年に1回、たまってお金を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JVC)」へ送金します。



## エコキャップが製品にかわるまで

恵那支所ボランティア連絡会では、集めたエコキャップを長島町久須見の「株式会社アパックス」に搬入し換金しています。キャップがどのようにして製品にかわっていくのかをご紹介します。



**現在回収しているもの**  
※使用済み切手は剥がさず余白を5mm~10mm残して切り取ってお届けください。  
※不要な入れ歯は洗浄・消毒のうえ、厚手の紙で包みビニール袋に入れてお届けください。  
恵那市社協および各支所では、エコキャップの他に下記のを回収しています。お寄せいただいたこれらのものは、収集団体や業者にまとめて発送し、さまざまな福祉活動に役立てられます。

- 使用済み切手
- 書き損じハガキ
- 不要な入れ歯

# ボランティア・市民活動支援センターからのお知らせ

## 福祉をもっと身近に! ~福祉体験学習~

恵那市社会福祉協議会では、高齢者疑似体験セットや点字体験、福祉に関するお話、障がい者の方のお話など、「体験する」「話を聞く」ことで、福祉を身近に感じる出前講座を行っています。学年や学習目的に合わせた内容を提案し、ボランティアのみなさんや障がいをお持ちの方に講師としてご協力いただいています。

実際に体験することで、普段の生活の中で自分たちでも出来ることや福祉について考える機会になると、市内小中学校の授業として数多く取り入れられています。



手話体験の様子(岩邑中学校1年生)



高齢者疑似体験の様子(長島小6年生)

福祉体験学習ではこんな体験ができます



- 高齢者疑似体験
- 障がいを持つ方のお話
- 車いす、白杖、手話、点字等の体験

※各学習内容や時間配分などご要望に応じて実施できます。詳しくはお問い合わせください。

## 地域や職場で福祉体験してみませんか?

地域の集まりや会社の研修などでも実施できます。また、体験するための道具の貸し出しも行っていきます。お気軽にお問い合わせください。

## 平成29年度 福祉体験学習実施校

- ・大井小学校
- ・大井第二小学校
- ・長島小学校
- ・三郷小学校
- ・岩邑小学校
- ・山岡小学校
- ・明智小学校
- ・上矢作小学校
- ・岩邑中学校
- ・串原中学校

全10校 計12回 参加人数 **434名** (延)

### 体験した児童・生徒の感想(一部)

車いす体験をして、車いすを押す人の大変さがわかり、乗っている人が怖い思いをしないような操作をすることが大切だとわかりました。(三郷小4年生)

点字体験をして、目が見えない人が字を読む大変さがわかりました。町の中や普段使っている物にも点字があることがわかりました。(長島小6年生)

問い合わせ 恵那市ボランティア・市民活動支援センター TEL0573-26-5221